

## ほくりく「食」と「農」の消費者ネット意見交換会(富山県)の概要

日時：令和7年11月28日(金曜日)

場所：北陸農政局富山県拠点第1・2会議室

令和7年11月28日、「第5次食育推進基本計画について」を本年度のテーマとして、富山県内の消費者団体6団体等から計8名の方々を招いて意見交換会を行いました。

最初に、各団体の方々から、マイバッグ持参運動、食品ロス削減、サルベージパーティー、地産地消、学校給食への食材提供、幼児・児童を対象とした食農教育、米消費拡大運動、フードドライブ、食品ロス削減推進サポーター、エシカル消費のアンケート調査や推進、親子稲作体験・料理体験・漁師体験、保護者を対象とした学校給食の調理実習等の取組など、令和7年度に取り組みされた活動を中心に発表して頂きました。

その後、情報交換を行い交流を深めました。「活動を広めるための情報発信は口コミが効果的」、「エシカル消費という言葉が浸透しておらず見直す時期にきているのではないか」などの意見が出ました。

続いて、消費・安全局消費者行政・食育課 課長補佐から、食育の推進に関する枠組み・体制や近年の食育の状況について説明したのち、第5次食育推進基本計画の検討状況について報告し、検討中の重点事項である ①学校等での食育の強化、②「大人の食育」の推進、③国民の食卓と農業の生産現場の距離を縮める取組の拡大 の3つの項目に沿って食育の取組事例を紹介しました。

出席された皆様から、多くの意見等をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

### ○消費者の役割について

・食料・農業・農村基本法第14条に規定している「消費者の役割」について、消費者は具体的に何をすればよいのかわかりやすく教えてほしい。

→(消費・安全局)「消費者の役割」については、例えば、買物のときに国産や地場産物を意識したり、有機農産物など環境に配慮された商品を選択したりすることなどが考えられる。

・消費者として食育のイベントなどに積極的に参加したいと思っているが、何か良い方法はあるか。

→(消費・安全局) 毎年開催している食育推進全国大会のほか様々なイベントを開催している。 イベント情報に限らず正しい情報が必要な人に届くように、食育以外も含むが、農林水産省公式ユーチューブチャンネル BUZZMAFF (ばずまふ)などを含め、皆様に分かりやすい情報発信について更に検討が必要と思っている。

## ○大人の食育について

・男性が60歳過ぎて退職をして、何もすることがないという現状の中、男性の料理教室を始めたら意外と好評。夫婦での参加も増えている。

・食育に限らないが、親への教育がすごく大事だと思うが、講座を開催しても忙しいのかなかなか参加してもらえないのが実情。

→（消費・安全局）食に関して、無関心な人は一定数いるのではないかと考える。官民連携食育プラットフォームはできたばかりで、具体的な取組はこれからだが、情報発信を含め検討を進めているところと聞いているので、無関心層や参加しにくい層に対しても自然と行動につながるような取組になればと考える。

→（北陸農政局）小さなお子さんがいる家庭は、食育のセミナーやイベントに親子で参加する機会があるが、そうでない世代に対する我々のアプローチとしては、SNS などをもっと上手く活用して情報発信をしていくことなどが考えられる。各個人がいつでもその情報に接することができること、そして、一貫性がないと混乱の元になるため、我々も問題意識を持って対応していく。

## ○情報発信について

・イベントなどに行くと、野菜の摂取量を測るコーナーを設けて食育の啓発を図っているが、人が集まっていない。官民連携食育プラットフォームで、企業の協力を得て、売場でアピールすれば、改めて個別に消費者が集まる場を設けて食育の普及を図る必要もないのではないかと。コンビニの売場に食育啓発のコーナーを設ければ効果的な情報発信ができるので、コンビニは情報発信のための良い場所だと思う。

## 意見交換会出席者

### 【消費者団体】（6団体、7名）

富山県婦人会、富山県消費者協会、JA 富山県女性組織協議会  
富山県生活協同組合連合会、（公財）富山県学校給食会、  
富山県食生活改善推進連絡協議会

### 【富山県】

農林水産部農林水産企画課

### 【講師】

農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課

### 【北陸農政局】

北陸農政局次長

北陸農政局地方参事官（富山県担当）

北陸農政局消費・安全部長

北陸農政局消費・安全部消費生活課長 ほか